

《オベリスクの巨神兵》

効果モンスター

星10 / 神属性 / 幻神獣族 / 攻4000 / 守4000

召喚するには生け贄3体が必要。通常召喚として扱う。

このカードが墓場より特殊召喚された場合そのターンのエンドフェイズに墓地に送られる。

また、蘇生したのが相手ターンならば、そのターン中、神は無敵の盾となる。

墓場よりの特殊召喚は「死者蘇生」の効果でのみ可能。

ターン終了時にそのターン受けた魔法効果はすべて解除される。

相手の場にモンスターが存在する時、一度だけ以下の効果から1つを発動できる。

(オベリスク・ゴッド・ハンド・クラッシャー)

2体の味方モンスターを生贄に捧げることで、相手の場のモンスターをすべて破壊する。

破壊した攻撃表示モンスターの元々の攻撃力の合計の半分のダメージを相手ライフに与える。

この効果は一度しか使えない。この効果を使う場合、そのターンこのカードは攻撃できない。

(オベリスク・ゴッド・ハンド・インパクト)

神属性を1体以上含む2体の味方モンスターを生贄に捧げることで、相手の場のモンスターをすべて破壊する。

この効果で相手モンスターが全滅し、その中に攻撃表示モンスターが1体以上含まれていた場合、

自分はデュエルに勝利する。この効果は一度しか使えない。この効果を使う場合、

そのターンこのカードは攻撃できない。

強力な耐性を持つ三幻神の一体、破壊の神。

効果テキストをOCG風に再現すると

生け贄召喚するには生け贄を3体捧げなければならない。このカードは「死者蘇生」の効果でのみ特殊召喚する事ができる。

このカードが特殊召喚されていた場合、エンドフェイズ時に墓地に送られる。

また、このカードが相手のターンに特殊召喚されていた場合、自分の場上にいるモンスターはそのターンの間相手によって破壊されず、戦闘ダメージも受けない。

エンドフェイズ時にこのカードを対象とする魔法、罫、効果モンスターの効果を無効にし、破壊する。また、攻撃力、守備力を召喚成功時の数値に戻す。

相手の場にモンスターが存在する場合、次の2つの効果のうちの1つを一度だけ発動できる。

自分の場のモンスター2体を生け贄に捧げる事で、相手の場の全てのモンスターを破壊する。

破壊した攻撃表示モンスターの元々の攻撃力の合計の半分のダメージを相手ライフに与える。

この効果は一度しか使えず、効果を発動したターン、このモンスターは攻撃宣言をする事ができない。

神属性のモンスターを1体以上含む、自分の場のモンスター2体を生け贄に捧げる事で、相手の場の全てのモンスターを破壊する。

この効果で相手モンスターが全滅し、その中に攻撃表示モンスターが1体以上含まれていた場合、自分はデュエルに勝利する。

この効果は一度しか使えず、効果を発動したターン、このモンスターは攻撃宣言をする事ができない。

上記以外の耐性として、カードの効果による破壊・除外・バウンス・コントロール変更が無効化され、

《クロス・ソウル》などによって生贄にされない効果を持つ。

このCGIでは空打ちが可能となっているため、試しに使ったカードを無駄にするのもよくある。

起動効果を発動した場合、《オシリスの天空竜》は耐性を無視して破壊できるものの、

《ラーの翼神竜》が相手フィールド上に存在する場合、このカードが逆に破壊されてしまう。

このCGIにはモンスターの効果を無効にするカードが存在しないため、現在の仕様では起動効果を無効にするには墓地に存在する《ラーの翼神竜》を《死者蘇生》で

チェーン蘇生するしかない。よってこの起動効果のデメリットはほぼ無いに等しい。

かつての起動効果は神属性のモンスターを使わずとも特殊勝利になっていたのだが、あまりにも強力すぎるためか、特殊勝利を発動させるためには神属性のモンスターを生贄に使うように変更された。

かつては《キング・スライム》などの併用によって先攻1killも簡単だったのだが、現在は他の神をいれる必要があるため、コンボに組み込みにくくなっている。その代わり非1kill×4が×2に変更されている。

原作・アニメにおいて ~

遊戯王カードwikiより ~

「バトルシティ編」が始まるきっかけとして、他の二神よりも先に登場した「破壊の神」（記憶編では「大地の神」とも）。

文庫版あとがきによれば、デザインモチーフは西洋の巨神である。

元々が攻撃的であるため、海馬に合ったモンスターであり、海馬の切り札の一枚として活躍した。

その後は《オシリスの天空竜》との死闘を経て遊戯の手に渡る。

他の三幻神と共に遊戯のしもべ・仲間としてさまざまな局面で活躍した。

ちなみに原作漫画の初登場時は指が4本だが再登場時には指が5本になっている。

ドーマ編では「ドーマの三銃士」に奪われ、グリモによって使用されている。

《オレイカルコスの結界》により「ダーク・オベリスク」となり攻撃力が500ポイントアップしたが、

《ユニオン・アタック》に似た効果を持つ《ブレイブアタック》のサポートを受けた

《磁石の戦士》《磁石の戦士》《磁石の戦士》3体の連携に敗れ去っている。

攻撃名は「ゴッド・ハンド・クラッシャー」、効果名は「ゴッド・ハンド・インパクト」。

劇場版にて登場した、《オシリスの天空竜》と《ラーの翼神竜》2体を生け贄に捧げた時の効果名は「インフィニティ・ゴッド・インパクト」。

関連カード

《オシリスの天空竜》

《ラーの翼神竜》